

「考える力を育てる問題」申込用紙

下の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成 28 年 12 月 9 日（金）

申込日： 12 月 9 日

ふりがな 氏名	ひの の しの 3う 平野 俊郎		
所属 (学校)	新潟市立岡方第一小学校		
学年	6 年	教科 (○で 囲む)	国語, 算数, 理科
単元名	資料を生かして呼びかけよう (教科書 6年)		
問題の見所	「資料を活用して呼びかける」という言語活動を設定している。どのような資料を選択し、どのような事実を示し、どのように主張と結びつけるかを考える問題です。「主張」と「事例」の整合性を考えるという、意見文等を書く時に生かせる力を育くことができます。		
出典 (必要な場合のみ)	※元になった問題をお送りください。(メール, 郵送)		

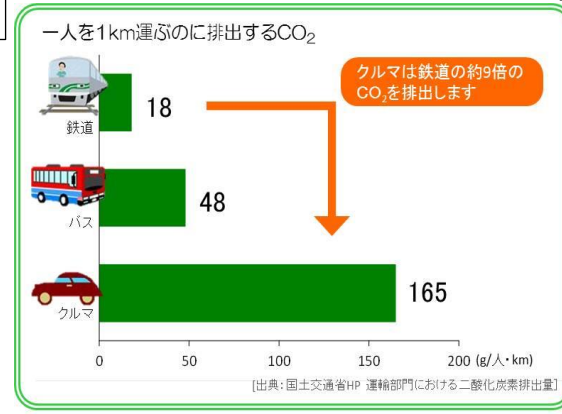
申込用紙, 問題の送付先

新潟県小学校教育研究会 事務局 貝沼浩晃
〒950-0908 新潟市中央区幸西3-3-1 じょいあす新潟会館2階
TEL 025-290-2231 FAX 025-245-6060

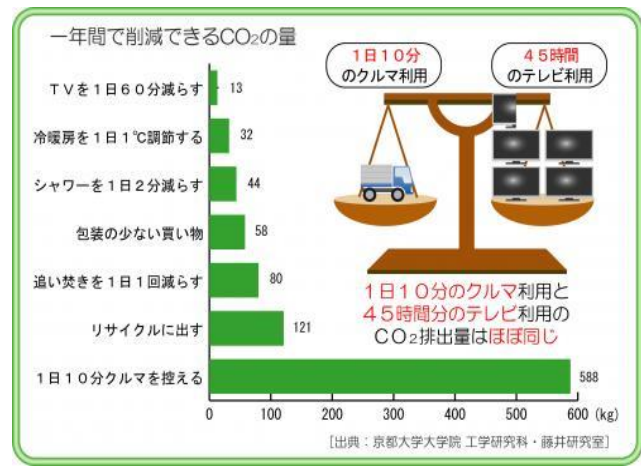
E-mail k-shoken@niigata-inet.or.jp http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken

〇〇小学校の六年生は、総合的な学習で、「環境」について学習しています。インターネットや図書館の図書などを活用して、環境にかかわる資料を調べました。

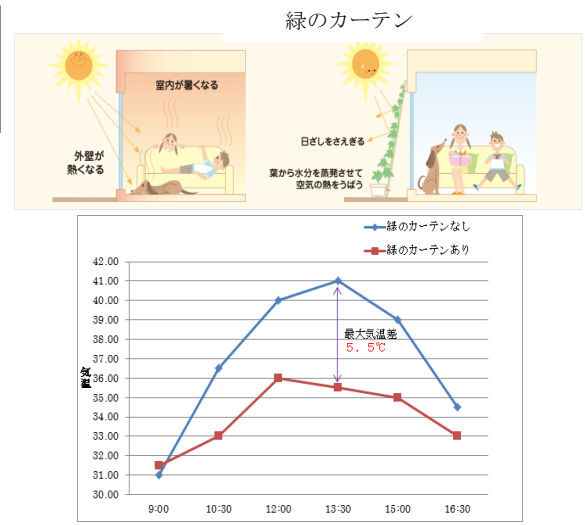
資料A



資料D



資料B



資料E

太陽光発電

10kW規模の太陽光発電所

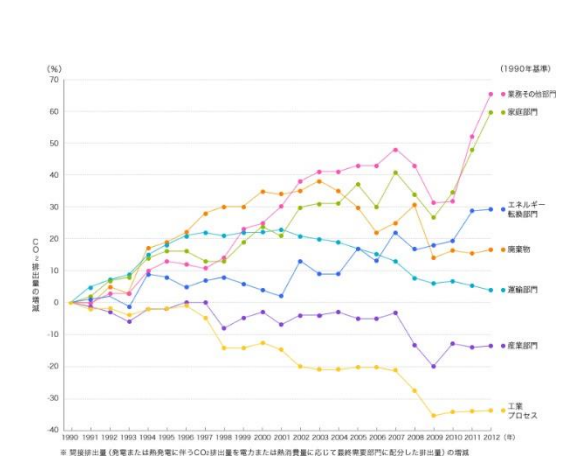
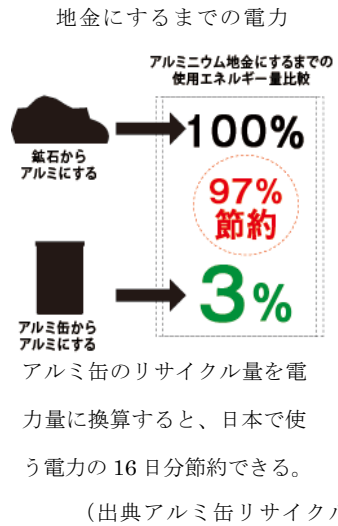
3,133kgのCO₂削減

杉の木222本分

ECOLOGY

(出典 土屋グループHP)

資料C



大井さんの班は、資料を調べて分かったことや気づいたことをまとめています。

問い一 資料を調べて分かったことのまとめとしてふさわしくないものは、どれでしょう。

に番号を一つ書きましょう。

- ① 車の運転は、他の電化製品を使うよりも、多くの二酸化炭素を排出する。
- ② 人を1キロ運ぶのに排出する二酸化炭素の量は、車は、鉄道の約3倍である。
- ③ 1990年と比較して、二酸化炭素の排出量が減っている部門もある。
- ④ アルミ缶をリサイクルすると、日本で使う電力の十六日分も節約できる。
- ⑤ 緑のカーテンをするとしないのでは、室内の気温差が最大で5・5℃も開く。

大井さんは、調べたことをもとに、資料を活用して次のような文章構成で書くこととしました。

終わり	中		始め
	②	①	
筆者の主張	解決策 (資料を使う)	現状の問題点 (資料を使う)	問題提示と筆者の主張

問い二 大井さんの文章構成では、「始め」と「終わり」に筆者の主張(伝えたいこと)があります。始めと終わりに主張があると、どんな効果がありますか。

大井さんは、全校児童に向けて、次のような呼びかけの文章を書きました。

自分の生活を見直し、少しの改善をしよう

大井 太郎

①〇〇小の皆さん、現在、地球温暖化という環境問題があるのを知っていますか。年々地球が暖かくなり、世界中で様々な問題が起きています。地球温暖化の原因の一つが、二酸化炭素の排出です。私たちは、ふだん家庭で生活する中でたくさんの二酸化炭素を排出しています。私は、二酸化炭素の排出を少しでも減らすために、自分の普段の生活を見直して、改善していくことが大切だと考えます。

②資料を見てください。資料は、です。

家庭部門では一九九〇年と比較して、二〇一二年までに六〇％増加していることが分かります。しかも、二〇一〇年以降は、急激に増えています。このままでは、家庭からの二酸化炭素の排出は、どんどん増加してしまうのではないのでしょうか。

資料

資料 2

④このように、ふだんの自分の生活を見直すと、二酸化炭素の排出量を削減するために、皆さんのような小学生にもできる工夫があります。一人一人の少しの改善が合わされば、きつとたくさんの量の二酸化炭素排出を削減することができますでしょう。皆さんも、二酸化炭素を削減するために、ふだんの生活を見直し、自分にできる少しの改善を続けていきましょう。

